



Q：痔について教えてください

A：痔には内痔核と外痔核があり、直腸粘膜と肛門上皮の境界部である歯状線より直腸側にできる痔を内痔核、肛門側にできる痔を外痔核と呼びます。初期は出血するだけで痛みはないのが普通です。鮮血が紙に付く程度から、便器が真っ赤になる場合までさまざまですが、次第に頻回に出血するようになり、内痔核が肛門から出てくるようになります。初めのうちは排便時のいきみで出てきて排便後は自然に元に戻りますが、次第に指で戻さなければならなくなり、最後は、いつも脱出した

まま戻らず、痛みを伴うようになります。

肛門部に負担をかけることが原因と考えられ、一番の原因は便秘です。習慣性の便秘あるいは下痢も肛門部を刺激し負担をかけて、痔の原因になります。また、長時間の座位や立ち仕事、腹圧をかけるような力仕事や運動、妊娠や出産なども肛門部につっ血を起こして痔の原因となります。



飲酒や辛い物の嗜好も肛門部のうっ血や刺激の原因となります。まずはこれらの生活習慣の改善が重要です。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F)

☎0555・2888・1801